

平成29年11月2日【日本産業新聞】

＜水コン協関西支部技術講座＞

管路の維持管理テーマに
深谷国総研主任研究官らが講演

管路の維持管理テーマに

水コン協関西
支部技術講座 深谷国総研主任研究官らが講演

全国上下水道コンサル
タント協会関西支部主催
による平成29年度関水コ



盛況だった技術講座



深谷主任研究官

ン技術講座が9月27日、
下水道管路施設の管理
業務について「管路施設
におけるストックマネジ
メント並びに維持管理の
取り組み事例について
」をテーマに、大阪市

北区の昭和設計大阪ビル
で開催された。

この日の技術講座に
は、会員、関西地区の下
水道事業関係者など約
100人が出席しほぼ満
員の盛況。管路施設管理
業務に対する関心の高さ
をうかがわせた。

講演では、深谷渉・国
土技術政策総合研究所下
水道研究部下水道研究室
主任研究官が「下水道施
設におけるストックマネ
ジメントについて」と題
して、下水道管路の老朽
化状況（布設50年超の管
路が1万3000点、今
後急増の見込み）、老朽

化に伴う代償（陥没事故
の多発、汚水の流出な
ど）、管路調査実施率（全
平均1・8%）、健全曲
線・予測式、緊急度ラン
ク、改築事業量・調査必
要延長の正確な予測、机
上及び簡易調査スクリー
ニングによる調査優先順
位の設定と絞り込みなどを
紹介した後、今後の管路
管理における重要事項と
して「データの蓄積を図
るとともに下水道台帳と
維持管理データのリンク
が必要。また、維持管理
を戦略的に実施するため
データの分析を行うこと
も、その結果を管路管

理に反映させなければな
らない」と指摘した。

奥野聡文・河内長野市
上下水道部経営総務課主
幹兼企画係長は「下水道
管路施設における維持管
理の取り組み事例につい
て」をテーマに、同市に
おける管路の包括的民間
委託の背景、内容、成果、
課題、現在実施中の第2
期委託（28年3月～33年
3月）の概要、1期から
の改善点、期待する成果、
さらには2期以降に予定
されている第3期の方向
性などを説明し、「河内
長野市」型維持管理を目
指したいと締め括った。